

令和4年 4月7日

(宛先) 湖西市議会議長
馬場 衛 様

湖西市議会議員
氏名 佐原 佳美



政務活動費収支報告書

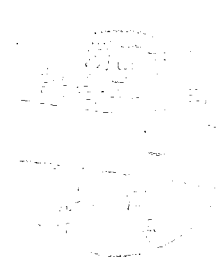
湖西市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項の規定により、令和3年度政務活動費について次のとおり報告します。

1 収入 政務活動費 120,000 円

2 支出 (単位:円)

項目	支出額	主たる支出の内容
調査研究費		
広報・広聴費		
要請・陳情活動費	11,750	交通費
研修費	69,780	研修費、交通費、宿泊費
資料作成費		
資料購入費	39,600	資料購入費
合計	121,130	

3 残額 0円



会 計 帳 簿

令和3年度 政務活動費

支出 番号	年月日	項目	主な内容	収入	支出	残額
	R3. 4. 21		政務活動費	¥120,000		¥120,000
1	R3. 4. 28	資料購入費	中日新聞朝刊4月分		¥3,300	¥116,700
2	R3. 5. 28	資料購入費	中日新聞朝刊5月分		¥3,300	¥113,400
3	R3. 6. 28	資料購入費	中日新聞朝刊6月分		¥3,300	¥110,100
4-1	R3. 7. 6	研修費	令和3年度市町村議会議員研修(JIAM)3日間 コース「社会保障・社会福祉」参加負担金		¥10,640	¥99,460
4-2	R3. 7. 10	研修費	令和3年度市町村議会議員研修(JIAM)交通 費		¥10,440	¥89,020
5	R3. 7. 28	資料購入費	中日新聞朝刊7月分		¥3,300	¥85,720
6	R3. 8. 30	資料購入費	中日新聞朝刊8月分		¥3,300	¥82,420
7	R3. 9. 21	研修費	地方議員研究会「SDGsの基礎解説」等資 料・USBデータ代金		¥22,940	¥59,480
8	R3. 9. 28	資料購入費	中日新聞朝刊9月分		¥3,300	¥56,180
9	R3. 10. 28	資料購入費	中日新聞朝刊10月分		¥3,300	¥52,880
10-1	R3. 11. 8	研修費	第5期産前産後サポート基礎講座参加負担金		¥22,220	¥30,660
10-2	R3. 11. 28	研修費	第5期産前産後サポート基礎講座交通費		¥660	¥30,000
10-3	R3. 12. 11	研修費	第5期産前産後サポート基礎講座交通費		¥660	¥29,340
11	R3. 11. 29	資料購入費	中日新聞朝刊11月分		¥3,300	¥26,040
12	R3. 12. 13	要請・陳情活動費	各省庁、国会議員への要望活動交通費		¥11,750	¥14,290
13	R3. 12. 28	資料購入費	中日新聞朝刊12月分		¥3,300	¥10,990
14	R4. 1. 19	研修費	第3回市町村議会議員特別セミナー オンライン参加負担金		¥2,220	¥8,770
15	R4. 1. 28	資料購入費	中日新聞朝刊1月分		¥3,300	¥5,470
16	R4. 2. 28	資料購入費	中日新聞朝刊2月分		¥3,300	¥2,170
17	R4. 3. 28	資料購入費	中日新聞朝刊3月分		¥3,300	¥-1,130

支 出 伝 票

湖西市議会議員
氏名 佐原佳美

会計年度	令和3年度		支出番号	1	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費		<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 3,300円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
	令和3年 4月28日	資料 購入費	(有)兼子新聞 店	3,300円	●中日新聞朝刊購読料 4月分
		その他 ()		円	
支出目的	議会質問等の参考資料に活用するため。				
備考					

- ※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。
- ※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

【とび振替】領収証
2021年 4 月分

佐原 佳美 様

銘	柄	部数	金額	合計金額
中日新聞	朝刊	※ 1	3,300	3,300 円

ご愛読ありがとうございます。
上記金額正に領収いたしました。
合計金額には消費税が含まれています。

※軽減税率対象
税込 3,300円 本体 3,056円 消費税(軽減8%) 244円
自振にて領収済

中日新聞鷺津支社
(有)兼子新聞
湖西市古見1-1
電話 (053) 576-0359
FAX (053) 576-4154

2021年 4A280

支 出 伝 票

湖西市議会議員
氏名 佐原佳美

会 計 年 度	令和3年度	支 出 番 号	2		
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 3,300円					
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
	令和3年 5月28日	資料 購入費	(有)兼子新聞 店	3,300円	●中日新聞朝刊購読料 5月分
		その他 ()		円	
支 出 目 的	議会質問等の参考資料に活用するため。				
備 考					

- ※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。
- ※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

【とび振替】領収証

2021年 5 月分

佐原 佳美 様

銘	柄	部数	金額	合計金額
中日新聞	朝刊	※ 1	3,300	3,300 円

ご受領ありがとうございます。
上記金額正に領収いたしました。
合計金額には消費税が含まれています。

※軽減税率対象

税込 3,300円 本体 3,056円 消費税(軽減8%) 244円

5/8 引換 自振にて領収済

中日新聞鶴津支店
(有)兼子新
湖西市古見1
電話 (053) 576-0359
FAX (053) 576-4154

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 佐原佳美

会 計 年 度	令和3年度		支 出 番 号	3	
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費		
	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 3,300円					
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
	令和3年 6月28日	資料 購入費	(有)兼子新聞 店	3,300円	●中日新聞朝刊購読料 6月分
		その他 ()		円	
支 出 目 的	議会質問等の参考資料に活用するため。				
備 考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

【とび振替】領収証

2021年 6 月分

佐原 佳美 様

銘	柄	部数	金額	合計金額
中日新聞	朝刊	※ 1	3,300	3,300円

ご愛読ありがとうございます。
上記金額正に領収いたしました。
合計金額には消費税が含まれています。

※軽減税率対象

税込 3,300円 本体 3,056円 消費税(軽減8%) 244円

6/28 自振にて領収済

中日新聞鷲津支
(有)兼子新
湖西市古見1
電話 (053) 576-0359
FAX (053) 576-4154

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 佐原佳美

会計年度	令和3年度		支出番号	4	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費		<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 21,080円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
1	令和3年 7月6日	参加負担金	(公財)全国市 町村研修財団 全国市町村国 際文化研修所	10,640円	●参加負担金 10,200円 ●振込手数料 440円
2	令和3年 7月10日	交通費	JR 東海	10,440円	*旅費内訳書との差額 5,560円 新幹線往復自由席利用。 JR ジパング倶楽部の乗 車券3割引を利用。
				円	
		その他 ()		円	
支出目的	児童虐待、ひきこもり等の最新情報、課題分析などを学び、湖西市で取り 組むべき施策を提案したい。				
備考	ジパング倶楽部会員割引によるポイントの付与はなし。				

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との
関連性を記入。

旅費内訳書

出張先： 全国市町村国際文化研修所 (滋賀県大津市)

出張日： 令和3年7月12日～14日

出張者： 佐原 佳美

区分		行程 (路線名・駅名等)		キロ数	金額	備考	
鉄道賃	JR線	普通	鷺津 ⇨ 唐崎	251.0	4,070		
			唐崎 ⇨ 鷺津	251.0	4,070		
		新幹線特急等	豊橋 ⇨ 京都	220.0	3,930	指定席(通常期)	
			京都 ⇨ 豊橋	220.0	3,930	指定席(通常期)	
	線	普通					
	小計					16,000	
	代					- 10,440	
代					本額 85,560		
小計					16,000 円		
日当			日	円			
			日	円			
宿泊料		2	泊	10,200 円	10,200	指定宿泊 (朝・夕食あり)	
			泊	円			
合計					26,200 円		
行程略図							
7月12日 鷺津 ⇨ 東海道本線 豊橋 ⇨ 東海道新幹線 京都 ⇨ 湖西線 唐崎 <セミナー参加> 全国市町村国際文化研修所 (泊)		7月13日 <セミナー参加> 全国市町村国際文化研修所 (泊)		7月14日 <セミナー参加> 全国市町村国際文化研修所 唐崎 ⇨ 湖西線 京都 ⇨ 東海道新幹線 豊橋 ⇨ 東海道本線 鷺津			

4-1, 4-2

駅-No 1244 領収書-No 23
 窓口-No 102
 領 収 書

湖西市線 佐原佳美様

金額 ￥10,440円
 「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2021年 7月10日
 東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
 付につき名古屋中村
 税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員

JAキャッシュサービス

ご利用明細票

毎度ありがとうございます。ご利用明細は下記の通りでございます。
 どうぞお確かめください。裏面の「ご案内」もあわせてご確認ください。

取引金融機関・店	取扱金融機関・店	機番	通番
取扱日		口座番号等	
03-07-06			
お取引内容		お振込み	
手数料	￥440	お取引金額	￥10,200
おつり	￥400	お取引後残高	
時刻	12:40		
お支払可能残高			

コサインキカイ サハラヨシミ様
 *印紙税申告済
 済済済済済
 *税務署承認済

JAバンク

JAキャッシュサービス

ご利用明細票

毎度ありがとうございます。ご利用明細は下記の通りでございます。
 どうぞお確かめください。裏面の「ご案内」もあわせてご確認ください。

取引金融機関・店	取扱金融機関・店	機番	通番
取扱日		口座番号等	
03-07-06			
お取引内容		お振込み	
手数料	￥440	お取引金額	￥10,200
おつり	￥400	お取引後残高	
時刻	12:40		
お支払可能残高			

コサインキカイ サハラヨシミ様
 *印紙税申告済
 済済済済済
 *税務署承認済

JAバンク

駅-No 1244 領収書-No 23
 窓口-No 102
 領 収 書

湖西市線 佐原佳美様

金額 ￥10,440円
 「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2021年 7月10日
 東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
 付につき名古屋中村
 税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員

供	議長	副議長	局長	係長	係
覧	●	●	●	●	● ●

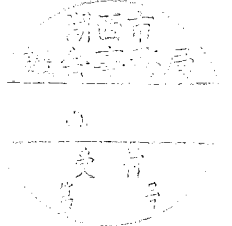
様式第9号 (第7条関係)

令和3年 8月 2日

湖西市議会議員
氏名 佐原佳美

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。



記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期間	令和3年7月12日から14日
場所	滋賀県大津市唐崎二丁目13-1 全国市町村国際文化研修所 (JIAM)
内容	<p>令和3年度 市町村議会議員研修「3日間コース」社会保障・社会福祉</p> <p>7/12【講義】社会保障制度の動向【講師】駒沢大 原田啓一郎教授 【講義】地域医療の現状と課題：国際医療福祉大大学院 島崎謙治教授</p> <p>7/13【講義】介護保険と地域包括ケアにおける市町村の役割：ニッセイ基礎研究所 三原 岳主任研究員 【講義】児童虐待への対応：日大 鈴木秀洋准教授 【講義】ひきこもりにおける地域支援の真価：山口大大学院 山根俊恵教授 【演習】二者択一テーマから「生活のしづらさのある人たちへの支援として、これからの福祉には何が必要か」を選び4人グループ討議</p> <p>7/14【講義】地域共生社会の実現に向けて：日本福祉大 原田正樹教授 【演習】前日のグループ討議、意見交換会の内容発表</p>
目的 (市政との関連性)	最新の社会保障の課題分析などを学び、湖西市の社会保障・社会福祉政策の向上の為に、施策や理念を提案したい。

<p>成 果</p>	<p>◆人生 100 年時代の社会保障を考える視点は、価値観やライフスタイルの多様化を踏まえた社会保障。非正規雇用や新たな働き方が増え、雇用と連動するこれまでの社会保障制度が意味を持たなくなりつつあり、社会保障給付や権利になじまない多元的な保障手段が必要。</p> <p>また、新しい生活困難者への対応、インビジブル・ピープル：目に見えない不可視的困難を抱えている人々の困難さを可視化し支援する作業が必要。</p> <p>◆「地域包括ケア」の言葉が頻用されている。包括されているケアの内容は、介護予防、保険外サービス、在宅医療、住居、多職種連携など多岐に渡り、議会答弁で使われる場合は、責任の所在が不明確であり「何もありません」と同義語と。</p> <p>◆議員は普段から住民の声を聴いている分、少数意見をくみ取れる可能性は高い。既存施策や縦割りと無関係に施策を考えられることが長所。</p> <p>◆あくまでも「子ども家庭総合支援拠点」整備はゴールではなく、子どもの命を守るための住民への約束でありスタート地点であるとの視点。</p>
------------	--

報告詳細

【講義「社会保障制度の動向」では、◆社会保障将来像委員会第 1 次報告（1993（H5）年）において社会保障の定義を「国民の生活の安定が損なわれた場合に、国民にすこやかで安心できる生活を保障することを目的として、公的責任で生活を支える給付を行うもの」とした。

◆第三次ベビーブームが起らなかったのは、第二次ベビーブームの団塊ジュニアの人々が結婚年齢に達する頃の 2000 年代前半に非正規雇用が増加し若者の貧困化（年収 150 万円未満の階層が増加）が顕著となり晩婚化や未婚となったため。

◆価値観やライフスタイルの多様化により「雇用」と「自営」の中間的な働き方をする者、外形的には、自営業者であり個人事業主、フリーランサー、クラウドワーカー等雇用類似の働き方をする者が増加し、これまでの法的保護や社会保障制度が当てはまらない働き方の人々が増加している。既存の社会制度の見直しが必要。

◆社会保障における世帯単位の位置づけが必要。

【講義】地域医療の現状と課題

◆75 歳以上の高齢者人口がピークを迎える 2040 年以降の人口減少は、毎年 90 万人と見込まれている。2040 年に団塊の世代が全員 75 歳以上となるが、その頃は、労働者の 5 人に 1 人は、医療・介護・福祉の現場で働かないと対応できない。

外国人労働者は、今研修生として日本で学びその頃は、母国に帰国し母国の高齢化対応に当たるため頼ることはできない。

◆独身者、身寄りのない単身世帯の増加にたいしては、家族の代替え機能を地域の中で誰がどの様に果たすのかが今後の大きな社会的課題。（地域包括ケアを提唱する以上）

◆来年の2022年から2025年までに団塊の世代が後期高齢者医療に入る。医療費の増加が見込まれるが社会保障関係費については、その実質的な増加を高齢化による増加分相当の伸びに収めることを目指す（経済財政運営と改革の基本方針2021）とされていることを継続すべき。

◆地域医療というが、医療・介護の問題は、地域の人口動態や医療資源の分布等の実情を見ないと最適解は出せない。最適解は地域の数だけある。借り物でなく実情を踏まえた創意工夫が重要。

◆「治す医療」だけでなく「治し・生活を支える医療」の重要性。政策が広がる。保健・介護・福祉・就労・住宅・まちづくりとの連携＝地域包括ケア

【講義】介護保険と地域包括ケアにおける市町村の役割

◆介護保険をめぐる2つの不足：①財源不足②人材不足

①介護保険の総費用は約3倍に増加。基礎年金からの特別徴収の基準保険料は月平均6,000円を超え、基礎年金の平均支給額約5万円の1割程度に相当し、これ以上の引き上げは困難。

②団塊の世代が75歳以上となる2025年には約55万人不足。

①②の解決策は、見いだせていない。

◆厚労省の地域包括ケアの「見える化」システム：要介護認定率や保険料、給付額などに関して近隣市町、類似規模市町村、全国平均等の比較が無料で可能。20分で分析できる。活用を。

◆地域包括ケアを考える時は、制度や枠組みから発想するのではなく、「困っている人」の実例から地域コミュニティでとらえ、マクロで考える。小さな声を集める。議員なら集まる。

◆認知症になっても安心して暮しやすい社会をつくる⇒認知症条例制定に至った自治体もある

◆介護保険事業の民間企業や住民の参画で広がり期待した「総合事業」：地域支援事業は「多様な担い手」が生まれずに、既存の介護保険事業の振替止まりの結果になっている。

◆「住民の声」を聴いている議員が見落とされがちな事象に着目し条例制定へ。埼玉県議会では、2020年3月議員提案でヤングケアラー支援条例を制定。当事者、支援団体などに丁寧なヒアリングを実施し、条例には部局横断的に施策を検討する会議体の設置を規定した。更に国も実態調査を実施した。二元代表制のメリットを生かした地域づくりを。

【講義】児童虐待への対応

◆子どもの権利主体性を保障するため2016（H28）年児童福祉法改正（児童虐待防止のため）この改正に伴い「市子ども家庭指針」ガイドラインは作成されたか。従前の指針は廃止。

◆「市子ども家庭総合支援拠点」という制度設計は事務、財務、人事上の課題と実際の相談事業及びソーシャルワークのあり方の側面の課題を捉えてスタートするのか。

◆あくまでも「子ども家庭総合支援拠点」整備はゴールでなく、子どもの命を守るための住民への約束でありスタート地点。これまでの児童相談所中心主義は点支援で市区町村中心主義の拠点となる「子ども家庭総合支援拠点」は面支援。子ども支援の専門性を持った機関・体制・

状態。18歳までのすべての子どもとその家族及び妊産婦等に切れ目なく多職種連携で継続的に支援する。

◆子どもの命を守るために親ごと支える視点。すべての住民が当事者としての地域まちづくりの視点。子どもも親もSOSが出しやすいまちをつくっているのだろうか。議員も地域住民としていろんな人間関係がある中での育ちの支援を。

【講義】ひきこもりにおける地域支援の真価

◆従来のひきこもり支援の内容が「ひきこもり家族教室」⇒「家族会」家族支援止まりで家族関係に変化は起きず、第二段階の「本人支援」に移行していない。対応方法を家族が学ぶところがない。

◆講師 山根俊恵氏の山根モデルは、家族支援をしながら本人へのアプローチを訪問型で実施。個別面接から集団の居場所へ、段階的に社会参加、就労支援へつなげている。

希薄な家族関係を家族への支援で親が変わってもらいと子どもが変わる。

当事者の傷ついた心の手当⇒自尊心を高める支援が必要

◆「居場所」の役割①安心できる場所②存在が認めてもらえる場所③相談できる場所

④同じ思いを共有できる仲間がいる場所「自分が必要とされる」「誰かの役に立っている」思いが元気になる力。

【講義】地域共生社会の実現に向けて

◆地域共生社会と地域包括ケア：0～100歳全ての人々の包括ケア「包括的支援体制」は社会福祉法で自治体の努力義務と示されている。

包括とは、その人の人生、その人の家族、困りごと。また、これまでの分野ごとの縦割り相談体制、制度の狭間に居る人、自ら相談に行くことができずに地域の中で孤立している人を支援につなげるセーフティーネットを張り巡らす意味もあり。

◆地域共生社会実現には、福祉教育の必要性が大。「共に生きる力」人権教育、生活教育、人間教育 誰一人取り残さないための福祉教育を。

◆地域共生社会実現のためには、【制度】（包括的支援体制、必要な財源、専門職の配置、地域福祉計画等）+【意識】（差別・排除への抗い、支え合いの意識等）が必要

【演習】「生活のしづらさのある人たちへの支援として、これからの福祉には何が必要か」

をテーマに選び、地域交通、買い物難民、孤独死、居場所、地域支え合い事業について意見交換しまとめた。

【所感】

7つの講座で繰り返し人口減少による医療・介護・福祉の人材不足への具体的準備が必要。社会福祉の対象を当事者のみならず、世帯の問題として行政の所管を超えた連携で対応する体制の必要性を聴き、専門性の高い相談事業の実施が急務と確認した。また、先進事例に学ぶためには、当市の実情を正確に把握して独自性の施策を提案しなければならないと痛感した。

支 出 伝 票

湖西市議会議員
氏名 佐原佳美

会 計 年 度	令和3年度	支 出 番 号	5		
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費		
	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 3,300円					
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
	令和3年 7月28日	資料 購入費	(有)兼子新聞 店	3,300円	●中日新聞朝刊購読料 7月分
		その他 ()		円	
支 出 目 的	議会質問等の参考資料に活用するため。				
備 考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

【とび振替】領収証
2021年 7 月分

佐原 佳美 様

銘 柄	部数	金 額	合 計 金 額
中日新聞 朝刊 ※	1	3,300	3,300円

ご愛読ありがとうございます。
上記金額正に領収いたしました。
合計金額には消費税が含まれています。
※軽減税率対象

税込 3,300円 本体 3,056円 消費税(軽減8%) 244円

7/28 振替 目振にて領収済

中日新聞 鷺津専
(有)兼子新
湖西市古見1
電話 (053) 576-0359
FAX (053) 576-4154

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 佐原佳美

会計年度	令和3年度	支出番号	6		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 3,300円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
	令和3年 8月30日	資料 購入費	(有)兼子新聞 店	3,300円	●中日新聞朝刊購読料 8月分
		その他 ()		円	
支出目的	議会質問等の参考資料に活用するため。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

【振替】領収証
2021年 8 月分

佐原 佳美 様

銘	柄	部数	金額	合計金額
中日新聞	朝刊	※ 1	3,300	3,300円

ご愛読ありがとうございます。
上記金額正に領収いたしました。
合計金額には消費税が含まれています。
※軽減税率対象

中日新聞鷺津専

(有)兼子新

湖西市古見1
電話 (053) 576-0359
FAX (053) 576-4154

税込 3,300円 本体 3,056円 消費税(軽減8%) 244円

8/30 振替

自振にて領収済

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 佐原佳美

会計年度	令和 3年度	支出番号	7		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 22,940円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
	令和3年 9月21日	参加負担 金	地方議員研究会	22,940円	●参加負担金（資料、 USB データによる研修） 22,500 円 ●振込手数料 440 円
支出目的	SDGs の基礎や決算審査を学び、自治体運営に関する自己研鑽を積む。				
備 考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

JAキャッシュサービス

ご利用明細票

毎度ありがとうございます。ご利用明細は下記の通りでございます。
 どうぞお確かめください。裏面の「ご案内」もあわせてご確認ください。

取引金融機関・店	取扱金融機関・店	機番	通番
取扱日		口座番号等	
03-09-21		[REDACTED]	
お取引内容 お振込み			
手数料	¥440	お取引金額	¥22,500
おつり		お取引後残高	
時刻	16:28	[REDACTED]	
お支払可能残高			

サハラ ヨシミ様

*印 継続申告納

※※※※※※

※ 継続申告済済済済

JAバンク

(写)

JAキャッシュサービス

ご利用明細票

毎度ありがとうございます。ご利用明細は下記の通りでございます。
 どうぞお確かめください。裏面の「ご案内」もあわせてご確認ください。

取引金融機関・店	取扱金融機関・店	機番	通番
取扱日		口座番号等	
03-09-21		[REDACTED]	
お取引内容 お振込み			
手数料	¥440	お取引金額	¥22,500
おつり		お取引後残高	
時刻	16:28	[REDACTED]	
お支払可能残高			

サハラ ヨシミ様

*印 継続申告納

※※※※※※

※ 継続申告済済済済

JAバンク

領収証

2021年9月22日

佐原 佳美

様

★

¥22,500

但 SDGsの基礎解説

持続可能な自治体運営のポイント

決算審議の実地研修 基礎

資料・動画データ代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北

大阪駅前第2ビル

TEL 050-6868-9678

様式第9号（第7条関係）

令和3年 10月 18日

湖西市議会議員 馬場 衛 様

湖西市議会議員 佐原佳美

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期 間	令和3年9月29日
場 所	USBデータ・資料による研修のため自宅
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・決算審議の实地研修 基礎 : 講師 川本達志元廿日市市副市長 ・SDGsの基礎解説 ・持続可能自治体運営のポイント : 講師 中山俊之(株)グローバルダイナミクス取締役
目 的 (市政との関連性)	<ul style="list-style-type: none"> ・「決算審議の实地研修」については、議会活動推進特別委員会の研究内容を深めるため。 ・新湖西市総合計画の事業がSDGsの項目とつなぎ示されているが、SDGsの目標に到達する取り組みか検証できるようにSDGsを学ぶ
成 果	<ul style="list-style-type: none"> *決算審議の实地研修 基礎 ・決算審査を効率的かつ有効に行うためには、審査資料を市民が見ても分かるようなエビデンスで示す形にする事。それを表す「事業シート」を作り、先ず職員が事業を見える化する。 ・「事業シート」で予算⇒執行⇒評価⇒改善⇒予算とPDCAを回す。 ・評価⇒改善が決算審査で、そこから予算編成への提言をして予算審査を行う。決算審査から予算審査へのサイクル

***SDG s の基礎解説**

- ・現在の産業、経済の在り方で生活を続けると環境破壊が進み、1日100種、年間3万種の生物が絶滅して、150万種の微生物を含む生命体は50年後には地球上から居なくなる。（環境白書）

地球38億年の歴史で見ると6回目の絶滅の危機。これまでは火山噴火や隕石落下（6600万年前）等地球の気候変動が大量絶滅をもたらしたが、今回は人類が地球を滅ぼす力を持ったとみる見方もある。

このような環境、人権、格差という全人類に影響ある放置できない地球的課題を解決するために、「Sustainable Development Goals」持続可能な開発目標SDG sが2015年9月に国連の持続可能な開発サミットで採択された。

- ・SDG s対応が遅れると企業として世界的に淘汰される時代。
- ・2016年から2030年までの17の目標、169のターゲット、232の指標があるが、目標1～6は社会問題。7～12は経済。13～17は環境問題で人類の一人一人に投げかけられて、委ねられている。

***持続可能自治体運営のポイント**

- ・トップマネジメント（首長+議会）の重要性
- ・総合計画はもちろん、組織目標や個人目標、人事評価ともSDG sを連動させるべき。
- ・SDG sに詳しく、施策を立案できる人材の育成に注力すべき。行政に横軸を入れられる人材育成。
- ・海外の事情に精通している人材の登用が地方自治体にも必要。⇒行政経営が本格的に変わる必要性あり。
- ・民間、市民を巻き込む必要性。（SDG sパートナー宣言等）
- ・複数の専門分野を幅広い視野でみられるリーダーシップを持った人材の育成。
- ・SDG s推進条例があつて良い。

報告詳細

*算審議の实地研修 基礎

・決算審査のポイントは、

- ①持続可能な財政状況にあるか
- ②事業の成果は上がっているか。改善すべき点はないか
- ③違法不当な収入・支出、財産管理は無いかな

*SDG s の基礎解説

・世界の投資家は、SDG s に逆行している日本の電力会社（石炭火力を続ける）5社から持ち株の撤退等（ダイベスト）をしている。

・国連が定めたE（環境）S（社会）G（ガバナンス）に配慮した責任投資原則（PRI：Principles for Responsible Investment）を受けて、多くの投資家が署名済。

・SDG s の事業展開を重視するESG投資は3,000兆円との試算があり日本のGDPの5倍。環境破壊しない製品は、コスト高ではあるが、世界の投資家は、そこにしか投資しなくなる。

・【SDG s の5つの特徴】

- 1) 普遍性：国連加盟国、全ての国が行動
 - 2) 包摂性：人間の安全保障の理念を反映し「誰一人取り残さない」全ての人に対する配慮が求められる。
 - 3) 参画型：全てのステークホルダーが役割を
 - 4) 統合性：社会・経済・環境に統合的に取り組む
 - 5) 透明性：定期的にフォローアップ（毎年国連総会時期にレビューされる。
- ・17の目標の「1. 貧困をなくそう」が一番重要。また、日本は5. ジェンダー平等を実現しよう が極端に低い。

*持続可能自治体運営のポイント

・自治体におけるSDG s 取り組みステップ

ステップ1：全庁的にSDG s を理解する。

2：SDG s に取り組む体制づくりをする。

3：目標と指標を設定⇒総合計画に連動

4：アクションプランを設定。⇒実施計画や事務事業評価と連動。

・岡山県真庭市の取組

SDG s パートナーを市内150団体と市が組んで推進している。（パートナー宣言）

所感

*決算審議の現地研修では、決算を「事業シート」作成で、職員が事業が見える化して、エビデンスに基づいた結果から予算編成に議員が提言するサイクル審査が良いと確認できた。藤枝市、可児市を参考に議会活動推進特別委員会で提案していきたい。

*SDG s の基礎解説、持続可能自治体運営のポイントでは、SDG s に世界市民の一人一人が取り組まなければ、地球、人類の危機が間近に迫っている状況を改めて知り、取り組みの緊急性を痛感した。企業人は、SDG s バッチを付けている人を見かけるが、市民にこの危機的状況が南海トラフ巨大地震ほど認識されていないことに危惧を憶える。NHK等が盛んに放送し、各種雑誌等にも解説が載るようになったが、市からも市民に発信しなければと思う。

総合計画は、SDG s の目標と事業が結び付けられているが、達成目標を検証しなければと思う。

また、SDG s 推進の担当部署の設置か各部署での担当者配置は必要に思う。

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 佐原佳美

会計年度	令和3年度	支出番号	8		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 3,300円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
	令和3年 9月28日	資料 購入費	(有)兼子新聞 店	3,300円	●中日新聞朝刊購読料 9月分
		その他 ()		円	
支出目的	議会質問等の参考資料に活用するため。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

証号 [redacted] 基金日 [redacted]

【とび振替】領収証

2021年 9 月分

佐原 佳美 様

銘	柄	部数	金額	合計金額
中日新聞	朝刊	※ 1	3,300	3,300円

ご愛読ありがとうございます。
上記金額正に領収いたしました。
合計金額には消費税が含まれています。
※軽減税率対象

中日新聞鷺津専

(有)兼子新

湖西市古見1
電話 (053) 576-0359
FAX (053) 576-4154

税込 3,300円 本体 3,056円 消費税(軽減8%) 244円

9/28 振替

目振にて領収済

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 佐原佳美

会計年度	令和3年度		支出番号	9	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費		<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 3,300円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
	令和3年 10月28日	資料 購入費	(有)兼子新聞 店	3,300円	●中日新聞朝刊購読料 10月分
		その他 ()		円	
支出目的	議会質問等の参考資料に活用するため。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

証 [とび振替] 領 収 証
2021年 10 月分

佐原 佳美 様

銘 柄	部 数	金 額	合 計 金 額
中日新聞 朝刊 ※	1	3,300	3,300円

ご愛読ありがとうございます。
上記金額正に領収いたしました。
合計金額には消費税が含まれています。
※軽減税率対象

税込 3,300円 本体 3,056円 消費税(軽減8%) 244円
10/28 自振にて領収済

中日新聞鷺津専
(有)兼子新
湖西市古見1
電 話 (053) 576-0359
FAX (053) 576-4154

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 佐原佳美

会計年度	令和 3年度	支出番号	10		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 23,540円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
1	令和3年 11月8日	参加負担 金	社団法人ここみ	22,220円	●参加負担金 22,000円 ●振込手数料 220円
2	令和3年 11月28日	交通費	JR東海	660円	●旅費
3	令和3年 12月11日	交通費	JR東海	660円	●旅費
支出目的	浜松市の子育て支援策や産前産後ケアの実際をドローラ研修を通して学び、湖西市の子育て支援の充実を図る施策を提案する。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

15-2

領收書 No 26
窓口 No 102
駅 No 1244
領 収 書

佐原佳美 様

金額 ￥660円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2021年11月28日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員



領收書 No 12
窓口 No 102
駅 No 1244
領 収 書

佐原佳美 様

金額 ￥660円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2021年12月11日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員



15-2 (写)

領收書 No 26
窓口 No 102
駅 No 1244
領 収 書

佐原佳美 様

金額 ￥660円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2021年11月28日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員



(写)

領收書 No 12
窓口 No 102
駅 No 1244
領 収 書

佐原佳美 様

金額 ￥660円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2021年12月11日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員



写

キャッシュサービスご利用控

毎度ご利用いただきありがとうございます

10-1

浜松いわた信用金庫

お取扱日		取扱金庫・店番		機番	取扱通番
03-11-08		[REDACTED]		[REDACTED]	[REDACTED]
カード発行金融機関		店番	口座		番号
[REDACTED]		[REDACTED]	[REDACTED]		[REDACTED]
万円券(枚)	五千円券(枚)	二千円券(枚)	千円券(枚)	お取引金額	
2	0	0	2	¥22,000*	
お取引内容			お取引後残高		
振込			*****		
手数料	¥220	ページ	硬貨	¥300	
時刻	16:17		おつり	¥80*	
[REDACTED]					
サハラヨシミ様					
[REDACTED]					

印紙税申告納付につき浜松西
税務署承認済

COPY

キャッシュサービスご利用控

毎度ご利用いただきありがとうございます

10-1

浜松いわた信用金庫

お取扱日		取扱金庫・店番		機番	取扱通番
03-11-08		[REDACTED]		[REDACTED]	[REDACTED]
カード発行金融機関		店番	口座		番号
[REDACTED]		[REDACTED]	[REDACTED]		[REDACTED]
万円券(枚)	五千円券(枚)	二千円券(枚)	千円券(枚)	お取引金額	
2	0	0	2	¥22,000*	
お取引内容			お取引後残高		
振込			*****		
手数料	¥220	ページ	硬貨	¥300	
時刻	16:17		おつり	¥80*	
[REDACTED]					
サハラヨシミ様					
[REDACTED]					

印紙税申告納付につき浜松西
税務署承認済

COPY

旅費内訳書

出張先： 多世代ハウスここみ

出張日： 11月28日

出張者： 佐原 佳美

区分		行程 (路線名・駅名等)		キロ数	金額	備考	
鉄道賃	JR線	鷺津	⇨ 浜松	19.5	330		
		浜松	⇨ 鷺津	19.5	330		
			⇨				
			⇨				
	新幹線 特急等		⇨				
			⇨				
			⇨				
	線	普通		⇨			
				⇨			
	小計					660	
代			⇨				
			⇨				
代			⇨				
			⇨				
小計					660 円		
宿泊料			泊	円			
			泊	円			
合計					660 円		
行程略図							
<p>11月28日</p> <p>鷺津</p> <p>⇨ 東海道本線</p> <p>浜松</p> <p>⇨</p> <p><セミナー参加></p> <p>多世代ハウスここみ</p> <p>⇨</p> <p>浜松</p> <p>⇨ 東海道本線</p> <p>鷺津</p>							

旅費内訳書

出張先： 多世代ハウスここみ

出張日： 12月11日

出張者： 佐原 佳美

区分		行程 (路線名・駅名等)		キロ数	金額	備考		
鉄道賃	JR線	普通	鷺津	⇨	浜松	19.5	330	
			浜松	⇨	鷺津	19.5	330	
				⇨				
		新幹線 特急等		⇨				
				⇨				
				⇨				
	線	普通		⇨				
	小計					660		
	代			⇨				
	代			⇨				
小計			⇨		660 円			
宿泊料			泊		円			
			泊		円			
合計					660 円			
行程略図								
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>12月11日</p> <p>鷺津</p> <p>○ 東海道本線</p> <p>浜松</p> <p>⇩</p> <p><セミナー参加></p> <p>多世代ハウスここみ</p> <p>⇩</p> <p>浜松</p> <p>⇩</p> <p>東海道本線</p> <p>鷺津</p> </div> <div style="width: 50%;"></div> </div>								

議長	副議長	局長	次長	係長	係
●	●	●	●	●	● ●

様式第9号 (第7条関係)

令和3年 12月 28日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 佐原佳美

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期間	令和3年11月28日、12月11日		
場所	多世代ハウスここみ (浜松市中区板屋町692)		
内容	第5期 産前産後サポート基礎講座 【11/28】・出産・子育てをめぐる社会環境とドゥーラが必要とされる背景、・イマドキの子育て家庭の考え方とニーズ、 ・浜松市の子育て支援の現状・産後の身体のトラブル等 【12/11】・乳幼児の遊びとおもちゃ、・サポートにおける基本姿勢とコミュニケーション、・支援者のセルフケア等		
目的 (市政との関連性)	湖西市の産前産後ケア事業及び子育て支援政策の充実を図るため、当市の課題を明確にして提案するため。		
成果	【湖西市に必要な子育て支援サービス】 (浜松市に在って湖西市に無い子育て支援サービス) の確認ができた。 1, 「湖西市助産師会」が無い: 市民が気軽に助産師に相談助言を求めに行く環境が無い。助産師(会)主催の市協賛や承認の妊娠期から出産、育児期の市民向け講座がない。 2, 「子育て支援ひろば」が無い: 妊娠期から3歳未満児を連れ		

	<p>での、子育ての仲間づくりの場、助産師などによる相談日、子育てに役立つ講座、イベントを定期的開催する場が<u>浜松市内には25か所(7区全て)</u>にある。また、それぞれの「ひろば」には「+サポート」として「<u>発達支援</u>」(言語や行動での心配を専門家に相談できる)、「<u>外国人支援</u>」(通訳を配置して仲間づくりを支援)、「<u>多世代支援</u>」(祖父母への働きかけ)、「<u>長期休暇支援</u>」(小学生までの子どもと保護者が利用できる)等の機能があり、更に市民に一覧表で周知されている。</p> <p>3, 産前産後ママ向け家事・育児サポート「はますくヘルパー利用事業」のような産前産後支援の教育を受けたヘルパー派遣事業が無い。</p> <p>4, 「多胎児サークル」が無い。湖西市民は、浜松のサークルまで通ってイベントに参加し助言を貰っている。</p> <p>5, 「浜松市子育て情報センター『ぴっぴ』」のようなWebでのワンストップ情報サイトが無い。これは、アップするだけの子育てに関する社会的資源が無いからかもしれないが。</p> <p>6, 不足のサービスを整備することが人口減少を食い止め、移住者を増やす対策の一助になる。</p>
--	---

報告詳細

【11/28】講師：ここみ代表理事大村美智代、(株)明治吉田栄養士、薬剤師・ドゥーラ永野、みむろ助産院 三室静香助産師

*出産・子育てをめぐる社会環境とドゥーラが必要とされる背景：①産科医療機関の集約化(入院日数の短縮化)②高齢出産の増加(産婦の両親が高齢で支援が薄い)③低体重児10人に1人④産後うつ10人に1人(これは、診断を受けた数。実際は自覚なくうつ状態になっている人が多いためもっと割合は高い。産後クライシスつまり産後の夫婦危機が離婚原因の最大。産後劇的に減少する女性ホルモン(エストロゲン)により、人類の進化の中で保育は共同作業に位置付けられた。女性に寄り添う、ねぎらうことで愛情ホルモン(オキシトシン)が増量する。)⑤核家族化(夫しかサポートする人がいず、夫もうつになる家庭が多い)⑥大量の情報(ネットで間違った情報が氾濫)

ドゥーラ (Doula) とは、他の女性を助ける女性という意味のギリシャ語。出産前後、出産中に母親に身体的、情緒的な支援を継続して行い情報を提供する、出産の経験を積んだ女性。

ドゥーラサポートは①情緒②身体③家事・育児④情報提供 (相談情報、子育て支援等) ⑤つなぐサポート (地域、子育て資源、医療者、親、夫とつなぐ)

☆ドゥーラに必要なことは、①クライアントの幸せを願う：相手が幸せだと自分も幸せ②聴くこと。自身の話はしない。③伴走型。指導はしない。依頼者の成長する機会を奪わない④傷つけない⑤秘密保持⑥詮索しない⑦言葉を選ぶ

*イマドキの子育て家庭の考え方とニーズ、浜松市の子育て支援の現状：添付資料参照

*調理における衛生管理、訪問における調理の工夫 依頼者の家事の仕方に沿うように聞く。例えば、野菜と肉のまな板を替える等。あるもので作る。衛生管理のために衣服を全部着替えて始める事業者もある。宿題として自宅で「ママのための食事 Book」より献立2つを作った。

*新生児のお世話とよくある相談 (沐浴実習・オムツ替え・肌ケア・肌トラブル) 今は、沐浴をベビーバス内で完結せず、洗身し、泡を流してバス内で温まるとしている。入浴後は、保湿オイルをたっぷり全身に付ける。

・「泣き止まない」との相談多いが生後1.2か月頃が泣きのピーク。何をしても泣き止まないときは、ママも気持ちをそこから離して休む。怒って揺さぶると、脳内の血管が切れて死亡する：揺さぶり症候群

*産後の身体のトラブル：一人一人違う。ホルモンバランス、子宮の変化、産後は全治3カ月の大けがと同じ。

*多胎の妊娠・出産・育児：妊娠中に実際の多胎児の育児現場を見学するか動画の視聴が必要。育児本で読むだけでは実際は予想外に大変だったとの当事者夫妻の動画視聴からの言葉が強く残った。

【12/11】講師：保健師・ドゥーラカワジ、子育て環境コーディネーター小沢めぐみ、ベビーウェアリングコンシェルジュ小沢めぐみ、ここみ代表理事大村美智代

*はますくプラン、はますくファイル、そだちのつみきの活用法：浜松市が健診計画や子育てに関する市の支援サービスを列挙して、子育ての流れを見える化したA3版資料や育児記録を記載でき、発達の状況を確認できるファイルを出産時に市民に配布している。優れもの。

*乳幼児の遊びとおもちゃ：0歳前半は、おもちゃはママにお話ししてもらったり触れてもらう媒体。愛着形成の大事な時期。神経伝達のニューロンの成長は、生後8カ月が人生のピーク。動くことは、人間になること。

・ミニペットボトルにビーズや光るテープ、水を入れたおもちゃ作りもした。

*だっことおんぶ 各種、抱っこひも、おんぶひもの事故にならない使い方を紹介。寝かしつけグッズが各種増えているが、おんぶや抱っこはスキンシップの時間。愛着形成に必要。おんぶは、しがみつく力を養う。

*サポートにおける基本姿勢とコミュニケーション：①依頼者である相手の立場に立つ 生活習慣、ニーズ、価値観を尊重した関わりをする。②専門的知識や技術の習得に励み、相手がその人らしく居られるようサポートする。情報、知識の引き出しを沢山持っていないと提供できない。③プライバシーを保護する。④相手をありのままに受け止める。(こちらの価値観で決めない) ⑤家事は相手のルールを尊重する。⑥指導ではなく支援。⑦境界線を引く。相手がやるべき事をしない。相手の成長する機会を奪わない。⑧傾聴と共感のみ⑨ドゥーラが訪問する時は玄関に自分の疲れを置いて入る。常にバージョンアップしていく。⑩失敗は素直に謝ってくる。

*支援者のセルフケア：対人援助は感情労働⇒誠実に向き合うほど『共感疲労』に陥る。長期化すると燃え尽きる。自分の考え方の癖を知る。回復力；レジリエンス 3Rでリフレッシュ Resut:休息と睡眠、Relaxation：くつろぎ、Recreation:

気晴らし 自分を大切にセルフケア①とりあえず落ち着く：手を使って体をなでたり、セルフハグする。②誰かとつながる：自分の心を一人にしない。相談機関に相談してみる ③コーピングマントラ：「大したことじゃない」「きっと何か意味がある」④呪いの言葉から希望の言葉へ

*グループディスカッション：受講者10人は、助産師、保育士、看護師、浜松市の「子育て支援ひろば」スタッフ等で、ドゥーラにとって大事なことを話し合った。

所 感

- ・湖西市に必要な子育て支援サービスの整備を促進させたい。
- ・母子に寄り添い援助する職業としての「ドゥーラ」には、体力も必要にて成れそうにはありませんが、「黒子に徹した地域のドゥーラ」を目指し出来ることを実践していきたいと思いました。

受講させて頂きありがとうございました。

支 出 伝 票

湖西市議会議員
氏名 佐原佳美

会 計 年 度	令和3年度	支 出 番 号	11		
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 3,300円					
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
	令和3年 11月29日	資料 購入費	(有)兼子新聞 店	3,300円	●中日新聞朝刊購読料 11月分
		その他 ()		円	
支 出 目 的	議会質問等の参考資料に活用するため。				
備 考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

領収証
2021年11月分

佐原 佳美 様

銘	柄	部数	金額	合計金額
中日新聞	朝刊 ※	1	3,300	3,300 円

ご愛読ありがとうございます。
上記金額正に預取いたしました。
※軽減税率対象は消費税が含まれていません。

税込 3,300円 本体 3,056円 消費税(軽減8%) 244円
11/29 自振にて領収済

中日新聞 鷺津支社
(有)兼子新
湖西市古見1
電話 (053) 576-0359
FAX (053) 576-4154

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 佐原佳美

会 計 年 度	令和3年度	支 出 番 号	12		
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 11,750円					
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
	令和3年 12月13日	交通費	JR 東海	11,750円	●旅費内訳書との差額 5,730円・復路は新幹線自由席利用・JRジパング倶楽部の乗車券3割引を利用 *東京メトロの交通費は請求しない。
支 出 目 的		国土交通省等各省庁への要望活動のための旅費。			
備 考		・ジパング倶楽部会員割引によるポイントの付与はなし。			

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

旅費内訳書

出張先： 東京都
財務省・国土交通省・環境省

出張日： 令和3年12月15日

出張者： 佐原佳美

区分		行程(路線名・駅名等)		キロ数	金額	備考	
鉄道賃	JR線	普通	鷺津 ⇨ 東京	276.6	4,840		
			東京 ⇨ 鷺津	276.6	4,840		
			⇨				
		新幹線 特急等	浜松 ⇨ 東京	257.1	3,730	指定席(閑散期)	
			東京 ⇨ 浜松	257.1	3,730	指定席(閑散期)	
			⇨				
	東京メトロ丸ノ内線	普通	東京 ⇨ 霞ヶ関	2.1	170		
			霞ヶ関 ⇨ 東京	2.1	170		
	小計					17,480	
	代		⇨			11,750	
代		⇨			5,730		
小計						17,480 円	
日当							
宿泊料		泊	円				
		泊	円				
合計					17,480 円		
行程略図					△ 5720-		
12月15日							
鷺津							
⇨ 東海道本線							
浜松							
⇨ 東海道新幹線							
東京							
陳情・要望活動							
東京							
⇨ 東海道新幹線							
浜松							
⇨ 東海道本線							
鷺津							

領収書 No 1
窓口 No 102
駅 No 1244
領 収 書

佐原 佳美 様

金額 ￥11,750円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2021年12月13日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員

写

領収書 No 1
窓口 No 102
駅 No 1244

領 収 書

佐原 佳美 様

金額 ￥11,750円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

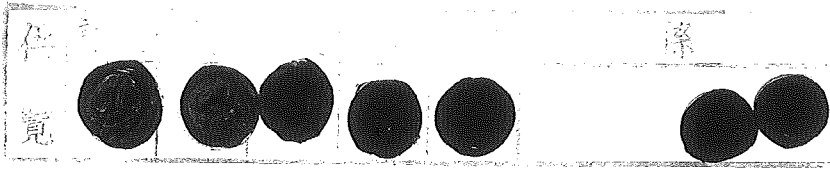
2021年12月13日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員



様式第9号（第7条関係）

令和3年 12月 27日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

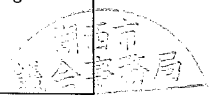
湖西市議会議員 佐原佳美

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期間	令和3年 12月 15日 (水)
場所	国土交通省・環境省・財務省・参議院議員会館
内容	<p>令和4年度湖西市要望書の説明と陳情。</p> <p><u>国に対する要望事項</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 「浜松湖西豊橋道路」の早期実現に向けて 物流機能の向上を図る幹線道路の整備への支援について 「国道1号潮見バイパス」の交通事故削減対策事業の促進と渋滞対策について 浜名港の整備促進について 一般廃棄物処理施設（ごみ焼却施設）・マテリアルリサイクル推進施設（ストックヤード及びリサイクルセンター）の整備に係る財政支援について
目的 (市政との関連性)	<p>国の関係省庁へ令和4年度湖西市要望を陳情することにより湖西市の重点政策への財政支援をより手厚く受けるため。</p>



成 果	<p>要望事項については、「お尻が決まっている事業なので計画通りに進めなければならない。地方が豊かになることが大事。」「交付金等の財源は要望額を準備する」と、前向きな言葉をいただくことができた。</p>
-----	---

報告詳細	
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 泉田国交大臣政務官から「浜松湖西豊橋道路」について、「環境調査に入るとい事は建設がスタートに入ったこと」と、考えてよいと前向きな言葉をいただきました。 2. 潮見バイパスの交通事故対策については、「交通事故の防止は一刻も早く取り組まなければならない」と、力強い言葉をいただきました。 3. 災害時に浜名港を地域間連携の拠点にする整備は、中越地震の際、護衛艦が入って助かった経験から有効性が高いと評価を頂いた。 4. 務台環境副大臣からは、お尻が決まっている案件なので「要望額は準備する(できる)」「国はごみ焼却施設について、余熱利用やゼロカーボンの取り組みを希望しているので、ごみ焼却施設の余熱供給の再開はいいことだと評価していただきました。 5. 「地元をよくするためには、地元の代議士としっかり手を組み活動を続けることが成果へとつながる」と、藤原財務大臣政務官から言葉をいただきました。 6. 牧野たかお参議からは、「浜松湖西豊橋道路」の環境アセスメントには3年ほどかかると思うが、遺跡や天然記念物が発見されると遅れるかもしれない。また、ルート案の所は、湖西市は山林だが、豊橋側は200軒ほどの人家の移転が必要との情報を頂きました。 <p>所 感</p> <p>毎年、自公市議団で国会要望活動をする事の重要性を実感しました。今回、藤原財務大臣政務官からも地元与党国会議員と要望活動することが、予算獲得につながるのお言葉で再確認することができました。城内実衆議、同事務所はじめ、要望活動の準備にご尽力下さった当局、議会事務局の皆様へ感謝です。</p>

支 出 伝 票

湖西市議会議員
氏名 佐原佳美

会 計 年 度	令和3年度	支 出 番 号	13		
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 3,300円					
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
	令和3年 12月28日	資料 購入費	(有)兼子新聞 店	3,300円	●中日新聞朝刊購読料 12月分
		その他 ()		円	
支 出 目 的	議会質問等の参考資料に活用するため。				
備 考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

証 領 収 証 集 金 日

【とび振替】領収証

2021年 12 月分

佐原 佳美 様

銘 柄	部 数	金 額	合 計 金 額
中日新聞 朝刊 ※	1	3,300	3,300 円

ご愛読ありがとうございます。
上記金額正に領収いたしました。
合計金額には消費税が含まれています。
※軽減税率対象

税込 3,300円 本体 3,056円 消費税(軽減8%) 244円
自振にて領収済 12/28

中日新聞 鷺津支店
(有)兼子新聞社
湖西市古見1-1-1
電話 (053) 576-0359
FAX (053) 576-4154

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 佐原佳美

会計年度	令和3年度		支出番号	14	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費		<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費		<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
合計支出金額 2,220円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
	令和4年 1月19日	参加負担金	(公財)全国市 町村研修財団 全国市町村国 際文化研修所	2,220円	●参加負担金(オンライン 研修)2,000円 ●振込手数料 220円
				円	
		その他 ()		円	
支出目的	ヤングケアラーやひきこもり、子ども食堂の最新状況、課題解決策を学び、湖西市が取り組むべき施策を提案したい。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
04-01-19		カード送金
記号	番号	

取扱番号	お取引金額	
N088	*2,000	
	残高	
送金料金 *220円		
振込予定日 04-01-19		
コサイシキ カイサハラヨシミ		

ご利用いただきましてありがとうございました。

—— ゆうちょ銀行 ——

写

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
04-01-19		カード送金
記号	番号	
*****	***3601	
取扱番号	お取引金額	
N088	*2,000	
	残高	
送金料金 *220円		
振込予定日 04-01-19		
コサイシキ カイサハラヨシミ		

ご利用いただきましてありがとうございました。

—— ゆうちょ銀行 ——



様式第9号 (第7条関係)

令和4年 2月 7日

湖西市議会議員 馬場 衛 様

湖西市議会議員 佐原佳美

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期間	令和4年1月24日、25日		
場所	滋賀県大津市唐崎二丁目13-1 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) のオンライン Zoom を自宅にて		
内容	令和3年度 「第3回市町村議会議員特別セミナー」 (オンライン) 1/24 【講義】 ヤングケアラー~介護を担う子どもたち~ 【講師】 成城大学文学部 現代社会学科 教授 澁谷 智子氏 【講義】 いま、見つめなおす「ひきこもり」~ひきこもり白書2021から 見えてきたこと~ 【講師】 ひきこもり UX 会議代表理事 林 恭子氏 (ひきこもり歴20年) 1/25 【講義】 こども食堂と私たちの地域・社会 【講師】 東京大学先端科学技術研究センター 特任教授 湯浅 誠氏 【講義】 コロナに負けない! 健幸都市 (ウオカブルティ) のまちづくり 【講師】 筑波大学人間総合科学学術院 教授 久野 譜也氏 (配布資料無し)		
目的 (市政との関連性)	湖西市の上記社会福祉施策向上の政策提案をするため。		

成 果

◆ヤングケアラー～介護を担う子どもたち～

・日本の家族に起きた変化：一世帯当たりの構成人数の半減（1953年には5人⇒2020年には2.21人）や共働き、一人親家庭の増加、少子高齢化、精神疾患患者の増加等の変化で「ヤングケアラー」は増えた。

・人が働けるようにするためのメンテナンスを「家族制度」に頼っていた社会から⇒弱体化した「家族」の中でケアする人をも支える社会に。

◆いま、見つめなおす「ひきこもり」

・引きこもりの生活は、真っ暗闇で息苦しく土の中にいる、地下の世界に思えてた。それは、生きるための行為。生きるために撤退している状態。

・本当に必要な支援とは、幸せになるための支援⇒居場所の提供

1、存在の肯定。本当の理解。（生きてていいんだと思えること）

2、一人じゃないと思えること。

3、一緒に頑張っていける仲間を得ること（当事者会を周知して欲しい）

☆支援のゴールは、就労ではない。どう生きるかは、本人が考える。

◆こども食堂と私たちの地域・社会

・こども食堂の利用対象を子どもだけとしている所は4%。96%は誰でも利用可。つまり、「地域の多世代交流の場」、生活困窮者だけが利用する所ではない。公園のような地域みんなの憩いの場

・民間企業のイオン、ファミマ、吉野家等多くがこども食堂へ寄付や出店、配食で参画⇒地域コミュニティ作りに貢献し、地域に根付くことで生き残りをかけている。

・こども食堂が急増している理由を自治体経営において、捉えること。

⇒居場所づくりは「総合計画」の中心に書かれるもの。

◆コロナに負けない！健幸都市（ウオーカブルシティ：歩いて行ける街）のまちづくり

・自治体は、新型コロナウイルス感染だけを見ずに、健康二次被害である高齢者のフレイル（壊れやすい状態）予防対策を講じるべき。

・外出自粛による運動不足は、筋力低下、免疫力低下、うつ、認知症などの発症リスクを増大させ、持病の重症化をもたらすが、対策を講じれば、いずれも回復させられる。

・公共交通の整備：ドアツードアでは、健康被害が発生する。日本の役所の前は駐車場。ヨーロッパは、公園があり、駐車場は少し公園内を歩いて作られている。心身の健康を考えている。⇒少し不便な方が健康になる。

・2040年問題（高齢者数最高値の年）を乗り越えられる勝ち組の自治体

	<p>と負け組の自治体が今から5年後くらいで見えてくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの住民が健康になれる街づくり⇒歩いて暮らせる街を創ること。 <p>人と接してメンテナンスしていく、社会参加できる街づくりを。</p>
--	--

報告詳細

1/24 (1日目)

◆【講義】「ヤングケアラー~介護を担う子どもたち~」

*「ヤングケアラー」と「家庭のお手伝い」の境界線は、子どもが子どもとしての生活ができる範囲で行うものが「お手伝い」、子どもの年齢や成熟度に合わない重すぎる責任や作業が継続的に子どもにかかっている状態は「ヤングケアリング」⇒子どもの心身の健康や安全や教育に影響が出る。

*日本は戦後の人口ボーナス（ベビーブーム・高度経済成長）期から人口オーナス（人口減少・少子高齢化：生産年齢減少）期に変わり、女性も元気な高齢者も働くことを余儀なくされ、行政の施策は、構成比の多い高齢者施策が優先されたが、ケアを必要とする人は増大し、在宅ケアの推奨もあり、大人が仕事で家庭にかけられる時間が減少した分を子どもが担うことになった。しかし、子ども故に行政への訴えもできず今日に至っている。

*人口構造や経済状況の変化に比べて「家族」に関する人々の意識は遅れがち。親にとっての当たり前が子どもに引き継がれる面があり、そこに社会の変化とのギャップが約30年あることが見落とされる。特に、女性に求められる役割は、職場でも家庭でも多すぎ、更に自身の内面化している家族のイメージにより「役割過多」。

*ケアを組み込んでこなかった社会：今の日本社会では、自分で生活できるようになるまでに約20年、人生の晩年に約10年要支援の時期がある。人生の1/3は誰かにケアして貰い、それ以外は家族のケアをする時期があるにもかかわらず、経済や社会の側は、仕事だけに時間やエネルギーの大半を使う働き方、生き方が主流。それは、「人口ボーナス」期の余裕のある時代にうまく機能した性別役割分業に支えられた男性の働き方だったと気付かなければならない。

*こどもの権利条約からヤングケアラーの権利をイギリスでは、2014年「子どもと家族に関する法律」「ケアに関する法律」（ヤングケアラーが18歳に達した後の事にも配慮）で定めた。：自分の話を聞いてもらい、自分で決めていく事ができない状況から守られる権利。

また、「地方自治体はヤングケアラーを見つけるために合理的措置をとる義務を負う」と謳っている。

・国内では、「埼玉県ケアラー支援条例」2020年3月制定がある。

*イギリスの2015年「ヤングケアラー（ニーズに関するアセスメント）法律施行規則」では、アセスメントにヤングケアラー自身を含めることが明記。

*学校の先生は忙しいというが学校がプラットフォームなのでその機能を活かして、福祉部門と連携して支援すべき。

*子どもらしく生きる権利を擁護し、家族と楽しい暮らしができる社会に。

◆ **【講義】** いま、見つめなおす「ひきこもり」~ひきこもり白書 2021 から見えてきたこと~

*ひきこもり白書 2021 は、2019 年に当事者本人 1,686 人から調査した珍しいデータ。

これまでは当事者不在で作られた支援策であったために、当事者は利用しないものだった。

*行政にやって欲しいこと①居場所作り、当事者活動の支援 ②当事者・経験者の声を聴く機会作り（講演会、フォーラム）③支援者向けの研修（講師を当事者に。支援者の言葉に傷つけられた体験者大）④庁内での連携（縦割りをなくし、どのような事例にも対応できるように）⑤地域資源の開拓（企業、商店、農家等）⑥各種手続きの指南（福祉の利用法、行政手続きや地域での生活に必要な手続き）⑦女性・LGBTQ 当事者への配慮（女性相談員が良い人が 7 割）⑧訪問者の開拓（歯科医・美容師等）

*家族の呪いの言葉：「良かれと思って、愛情で」は嫌。理解が一番大事。

*支援者（行政）に対する当事者の言葉：上から目線で怠け者と言われ、社会人としてふるまう事を強制された。支援を求めているのに支援者が当事者に求めるハードルが高くて傷つき辛い。専門職の臭い⇒支援臭、福祉臭と表現されている。もっと、当事者の心に寄り添えないものか？

- ・働く意欲が無いのではなく社会に居場所が作れなかった。（昼休みをどこでどう過ごすか）
- ・ゆるくつながりたい。

*当事者は、電話で話せない人が多い。携帯電話を持っていない。なのに相談は、「電話予約して」が殆ど。

*「ひきこもり女子会」2017 年から 3 年間北海道から沖縄で 160 回開催し 4600 人参加。10~60 代の女性で 2~3 割は主婦、また、ひきこもり女性の 7 割が男性が怖い（性的被害、男性行政相談員の態度）

*同調圧は息苦しい。今も只、自分のために生きている。（林講師）

1/25 (2 日目)

◆ **【講義】** こども食堂と私たちの地域・社会

*・全国の「子どもの居場所」は 8,558 カ所。この内、こども食堂が大半で 6,067 カ所。

*民間企業がこども食堂に取り組んでいる。

イオン（イオンこども食堂応援団 6,000 店で 3 回の募金活動）、ファミリーマート（ファミマこども食堂 33 店舗、17,000 店舗中 900 店舗でフードドライブ実施）、吉野家（3 万食の弁当配布。5 万食目標）、吉本興業（沖縄でこども食堂展開）、ポケモンこども食堂応援隊など。

・イオンのチラシには、「全ての子どもたちが心身ともに健やかに共助の絆で結ばれる地域コミュニティ作りに取り組んで参ります。」とあり、食べられない子どもへの支援とは書かれて

いない。

*こども食堂の数が全国で、2012年発足より右肩上がり、2018年からは、毎年前年比1,200か所ほどのペースで増加。どこからもお金が出ないのに急増しているのは、地域を良くしようとする人が大勢いるから。

・子どもの貧困対策は、子育て支援の中にあり、それらは地域づくりの中に包括されている。

「包括的で長期的な成長のためには、全ての利害関係者（ステークホルダー）に配慮した経営が必要」：2018年ビジネスラウンドテーブル声明（アメリカ商工会の声明）

・早く行きたければ一人で進め、遠くまで行きたければ皆で進め（アフリカのことわざ）：「誰ひとり取り残さない」SDGsの精神。

・人口減少著しい地方でこそ持続可能な地域へと「こども食堂」の取組みが始まっている。

・政策的背景は、かつては、民の部分で縁する人々の支えがあり、特別なニーズに官の専門的な関わりがあった。しかし今は、民の部分が無縁社会となり、特別なニーズにだけ対応していれば良かった官のサービスは、狭間に落ちた民が支援していたところも支援することが求められるように変わった。もともと官の公的サービスは対象者限定の「規格化された支援サービス」にて、その方法が批判されてしまっている。

◆【講義】 コロナに負けない！ 健幸都市（ウオカブルシティ）のまちづくり

*新型コロナで外出抑制に伴い運動不足、栄養過多、孤食（高齢者に多発）⇒寝たきり高齢者や自殺者が増えた。

・死亡リスクの1位高血圧、2位タバコ、3位高血糖、4位運動不足、5位肥満

*外出自粛の二次被害の予防：3L：3つのリテラシー（知識と意欲）の向上が重要

①ヘルスリテラシー ②情報識別リテラシー（情報活用力） ③高齢者のICTリテラシー

*コロナがもたらしたもの：①人間関係、コミュニティの崩壊 ②健康格差の拡大 妊産婦、女性の自殺増加 ③医療体制の課題が露呈。 ④マスコミ報道の信ぴょう性：日本人のヘルスリテラシーの低さの露呈：SNSの誤情報

*2009年スマートウェルネスシティ施策：狭義でなく広義で展開する必要あり：歩いて暮らせる街 1, 市民が便利さだけを追求しすぎない生活を許容できる価値観を醸成する。

2, サポートの為に①社会参加できる場づくり（賑わいづくり）②自助を強める施策 インセンティブの活用とリテラシー向上 ③快適な歩行空間整備 ④過度な車依存からの脱却を支援できる公共交通再整備 ⑤街の集約化（コンパクト&ネットワーク）

行政が一步ずつでも変えようとしないと2040年の高齢者がピークの社会を幸せな社会に出来ない。

【所感】

4講座を受講して共通理解できたのは、高度経済成長期にできた福祉行政（縦割り）は、戦後の大家族制や地縁が濃い地域がベースで実施されて来た。しかし、少子高齢社会となり、核家族やひとり親家庭、独居が増え、地縁も薄くなった地域の状況では、現行の福祉行政では、平均的な生活から漏れる世帯や人が増えているということ。迎える高齢者数がピークの2040年湖西

市が地域包括ケアシステムが機能し、SDG s の推進が図られ、防災対策が出来ているために、行政と市民が手を携えて居場所づくりや子ども食堂：多世代交流の場を整備しなくてはならないと実感した。それらを実現するために一般質問や委員会、議会で当局に提案したい。

支 出 伝 票

湖西市議会議員
氏名 佐原佳美

会 計 年 度	令和3年度	支 出 番 号	15		
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 3,300円					
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
	令和4年 1月28日	資料 購入費	(有)兼子新聞 店	3,300円	●中日新聞朝刊購読料 1月分
		その他 ()		円	
支 出 目 的	議会質問等の参考資料に活用するため。				
備 考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

証 類 No. 店コード 区 号 支店コード 集金日

【とび振替】領 収 証

2022年 1 月分

佐原 佳美 様

銘	柄	部数	金 額	合 計 金 額
中日新聞	朝刊	※ 1	3,300	3,300 円

ご愛読ありがとうございます。
上記金額正に領収いたしました。
合計金額には消費税が含まれています。
※軽減税率対象

税込 3,300円 本体 3,056円 消費税(軽減8%) 244円
 自振にて振込済 1/28

中日新聞 鷺津支店
 (有)兼子新聞
 湖西市古見1-1-1
 電話 (053) 576-0359
 FAX (053) 576-4154

支 出 伝 票

湖西市議会議員
氏名 佐原佳美

会 計 年 度	令和3年度	支 出 番 号	16		
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 3,300円					
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
	令和4年 2月28日	資料 購入費	(有)兼子新聞 店	3,300円	●中日新聞朝刊購読料 2月分
		その他 ()		円	
支 出 目 的	議会質問等の参考資料に活用するため。				
備 考					

- ※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。
- ※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

【とび振替】 領収証
2022 02 月分

佐原 佳美 様

銘	柄	部数	金額	合計金額
中日新聞	朝刊 ※	1	3,300	3,300 円

ご愛読ありがとうございます。
上記金額正に領収いたしました。
※軽減税率対象は消費税が含まれています。

中日新聞鷺津専
(有)兼子新
湖西市古見
電話 (053) 576-0359
FAX (053) 576-4154

税込 3,300円 本体 3,056円 消費税(軽減8%) 244円

自振にて領収済 2/28

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 佐原佳美

会計年度	令和3年度		支出番号	17	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費		
	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 3,300円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
	令和4年 3月28日	資料 購入費	(有)兼子新聞 店	3,300円	●中日新聞朝刊購読料 3月分
		その他 ()		円	
支出目的	議会質問等の参考資料に活用するため。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

証 日 金 日 とび振替

領 収 証

2022 年 3 月 分

佐原 佳美 様

銘 柄	部 数	金 額	合 計 金 額
中日新聞 朝刊 ※	1	3,300	3,300 円

ご愛読ありがとうございます。
上記金額正に領収いたしました。
※軽減税率対象は消費税が含まれています。

税込 3,300円 本体 3,056円 消費税(軽減3%) 244円
3/28 自領にて領収済

中日新聞鶴津専
(有)兼子新
湖西市古見1
電話 (053) 576-0359
FAX (053) 576-4154